



間もなく収穫し、梅酒、梅干しへ・・・(*´σ`)



うちの畑の梅たちです。(令和5年5月24日撮影) --->

今年の梅雨、早いですね。岡山で平年の梅雨入りは、
6月6日頃だそうです。でもね、今年は昨年よりも13日も早く5月29日に梅
雨入りしたとみられるって、あの気象庁が発表したところですよ。



梅はなぜ梅というのか?

この結果のこのトピックと他のトピックを参照してくだ
さい



「梅」の字の語源は? 引用: All content © Tonohata Co., Ltd.

梅という字は形声字で「木偏」と「每」からなっています。「每」は象形文字で本義は
氏族社会の中で、子供を最も多く育てた母親のことです。梅が実をつける時、必ず枝
枝全てに累々と実をつけていることから、そのため、人々は梅を一種のめでたい樹木
と考えたようです。「梅」の字は、こうした由来で生まれたという説があります。

(寒い冬に咲き始め、雨の季節に実が熟す、強い樹でありまるで母ですね。)

母の日はもう過ぎたけど、「母」という字の、は、なんとおっばいを表しているんだ
って、また、「^{あんばい}塩梅」という言葉を耳にしたり、実際に使っておられる方も多はず。
そこで、語源を探ってみたら・・・なんで「塩」「梅」なのか。梅干しじゃんって思っ
たでしょう。でも、語源は『梅酢』なんだそうです。醸造酢がなかった昔は、料理の
味付けを 塩 と 梅酢 でしていたそうです。料理以外にも、物事や身体のぐあい・
ようすに使うこともあるね。

自然現象の梅雨が苦手な人もいるけど、「梅」について歴史を紐解いてみるのも、これ
また乙なものです。雑学:梅干しの種には天神さまと呼ばれる白い仁が入っています。